

日向コミュニティ振興会

会長／小松 幸雄氏

世帯数／347世帯▶人口／1,118人(11/30住民基本台帳)▶小学校区／八幡小学校▶中学校区／鳥海八幡中学校▶電話／64 - 4913



●体験が子どもを育てる

鳥海山の麓にある日向地区は日向川沿いに位置し、多くの観光客が訪れる玉簾の滝や鳥海高原家族旅行村などもあり自然豊かなところです。

平成21年に地域の日向小学校が閉校しましたが、地域の子どもを大事にする思いは昔と変わりません。当コミ振では「体験が子どもを育てる」という思いでさまざまな事業を実践しています。

地域の子どもと大人が触れ合い、地域の教育力を高めるために行っている「日向ぼっこスクール」。春はナメコを植える体験、夏はほたる観祭会、秋は干し柿作り、冬は雪祭りなど、四季折々の特色を生かし郷土愛を育むことができます。具体的な内容にしています。特に、ほたる観祭会では、ゲンジボタルが群がる姿に大人も子どもも感動します。

この他に高齢者に関する事業も年間10回ほどあります。また子ども居場所づくりにもなるように小学校の代休日などに事業を行う

たり、若い人からも地域を知ってもらうためにコミ振のホームページで活動内容を紹介したりしています。

このように人が人を呼ぶ楽しいコミセンを目指し「1年に1回はコミセンに足を運んでもらう」とをテーマに掲げて活動しています。コミセンに来てもらいやすくすることが、二大イベントである運動会と秋まつりへの参加にもつながっています。



▲日向ぼっこスクールの干し柿作り

●地域で暮らす幸福感

将来、さらに高齢化が進むことで、地域に暮らす方々の福祉や生活のあり方が課題になります。地域での支え合いについて、行政や有識者などの協力を得ながら検討も進めています。

今後も老若男女が安心感を持って、いつまでも自分たちが暮らす日向地区を誇りに思えるような地域づくりを目指しています。

「そば粉で作る「そばピザ」がとてもうまいんですよ。新しいことにチャレンジする前向きな姿勢と小松会長や事務局の皆さんの和やかな雰囲気がとても印象的でした。」

伝えたい酒田の味

昔ながらの酒田の味
酒田市食生活改善推進員が紹介します

32

大根のはりはり漬け

「はりはり」は「ぱりぱり」という干し大根の食感が名前の由来となっています。この干し大根は、今のようにいつでも食品が手に入る時代ではなかった昔、秋に収穫した大根を干して冬場に利用する保存食でした。寒風にさらされた干し大根は、

さらに甘みが増します。はりはり漬けは、おめでたい正月らしく、子宝と子孫繁栄を祈る「数の子」、祝い事を表す縁起物「寿留女(するめ)」、喜ぶの言葉にかけて「昆布」、元気に働けますようにと「豆」などの食材が入った漬けものです。酒田の正月には欠かせない行事食です。



【材料】6人分

干し大根…100g
ひたし豆(青豆)…60g
ニンジン…50g 数の子…150g
するめ…30g 昆布…20g
調味料…酒100cc・みりん50cc
しょう油50cc

【下処理】

- 干し大根は小口切りにし、ぬるま湯でもみながら2回～3回お湯を替えてよく洗う。ざるに上げて水気を切っておく。
- 数の子は薄い塩水に2時間ほど浸して、少し塩気が残る程度に塩抜きする。

【作りかた】

- ①分量の調味料を全て鍋に入れ、さっと沸騰させたら、そのまま冷ましておく。
- ②ニンジンは、皮をむいて2センチ長さの千切りにする。するめ、昆布はキッチンバサミで2センチ長さの細切りにする。下処理した数の子も、食べやすい大きさにちぎっておく。
- ③大きめのタッパーなどにひたし豆以外の材料を全て入れ、上から①を流しかける。味にむらがないように半日に1回ぐらいかき混ぜる。1日～2日ぐらいで味がなじんだら出来上がり。盛り付けの時にひたし豆を彩りよく飾って出来上がり。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

干し大根を切り干し大根に替えると、より手軽に作るができます。

関市観光物産課観光物産係 ☎26-5759

約1千200年前、弘法大師が名付けたといわれる八幡地域升田の「玉簾の滝」。かつては山岳信仰の修験場で、滝の前には御嶽神社があります。

落差63メートルの断崖絶壁から、水がしぶきをあげ落下するさまは豪快。豪快さの中にも気品が感じられる、県内でも随一の瀑布と称されています。季節によって美しく、さまざままで、春は若葉、夏は青葉と涼、秋は色鮮やかな紅葉とのコントラスト、

幻想的な厳冬の「玉簾の滝」



冬は氷壁となり、四季を通じて周囲の景観と調和した表情を見せてくれます。特に厳寒の冬には青白く氷結し、巨大な氷柱となった滝は、まるで空に昇る龍のような幻想的な姿を見せてくれます。県内で凍った滝が見られるのは珍しく、夏とは違った感動を与えてくれます。

例年、水瀑の見ごろは「酒田日本海寒鱈まつり」が開催される1月下旬です。ぜひ、しっかりと防寒をし、雪道なので長靴を準備して厳冬の玉簾の滝をご覧ください。

◆玉簾の滝に関するお問い合わせは、八幡総合支所建設産業課 ☎64-3115へ。



▶青白く氷結する滝は神秘的な雲霧気を醸し出します

フォトギャラリー

思い出のまち 9



川原で冬スキー

昭和40年の最上川堤防の川原（現在の堤町付近）で長靴スキーをする子どもたちの様子。冬晴れの日、太陽の光が白雪に反射する中、雪化粧された土堤の上から滑降を楽しむ子どもたちの目は輝いています。

松山・平田の市営スキー場もオープンしています。雪国ならではの思い出づくりができる季節です。

水道まめ知識

おいしい水を届けます

21

関市水道局管理課経営管理係

☎22-1812

手洗いとうがいに水道水のすすめ

この冬、感染性胃腸炎が急増しており、この10年間で2006年に次ぐ勢いとなっています。原因の一つのノロウイルスは感染力が強いウイルスです。さらに、これからの季節はインフルエンザウイルスにも注意が必要です。

水道水は安全性を保つため、塩素消毒をしてお届けしています。水道水とせっけんによる手洗いは、付着したウイルスを除去し、感染する危険を少なくする効果があります。

手洗いによるノロウイルス除去効果

東京都福祉保健局「ノロウイルス対応標準マニュアル」より（ネコカリシウイルスを用いた実験）

流水で15秒間洗うと

1/100 程度

せっけんを使ったもみ洗い10秒間+流水で15秒間洗うと

1/1000 程度